

(様式第 9)

東大院総第 3 3 2 号
平成 2 1 年 1 0 月 7 日

厚生労働大臣

殿

東京大学医学部附属病院長 武 名
東京大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 0 年度の業務に関し
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	175.46人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	565人	315.2人	880.2人	看護業務補助	2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	12.6人	26.6人	理学療法士	15人	臨床検査技師	119人
薬剤師	70人	5.8人	75.8人	作業療法士	6人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	2人
助産師	33人	0人	33.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	8人
看護師	1,112人	11.5人	1,123.5人	臨床工学技士	27人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	8人	0.7人	8.7人	栄養士	3人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	364人
管理栄養士	7人	0.9人	7.9人	診療放射線技師	62人	その他の職員	270人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,071.1人	15.0人	1,086.1人
1日当たり平均外来患者数	3,268.6人	90.0人	3,358.6人
1日当たり平均調剤数	2,438.8剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 無	20人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 無	21人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 無	37人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 無	143人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室塞処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	29人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	20人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	41人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	121人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	257人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	1人
・多発性硬化症	101人	・ウェゲナー肉芽腫症	29人
・重症筋無力症	199人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人
・全身性エリテマトーデス	1352人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	4人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	66人	・膿疱性乾癬	22人
・サルコイドーシス	242人	・広範脊柱管狭窄症	19人
・筋萎縮性側索硬化症	79人	・原発性胆汁性肝硬変	505人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	746人	・重症急性膵炎	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・結節性動脈周囲炎	7人	・混合性結合組織病	0人
・潰瘍性大腸炎	414人	・原発性免疫不全症候群	13人
・大動脈炎症候群	90人	・特発性間質性肺炎	15人
・ビュルガー病	4人	・網膜色素変性症	11人
・天疱瘡	41人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	138人	・原発性肺高血圧症	78人
・クローン病	106人	・神経線維腫症	15人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	56人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・パーキンソン病関連疾患	220人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	18人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	153人	・副腎白質ジストロフィー	11人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 8~10回/月 (102回/2008年度)		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	105 例	剖検率 22 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マルファン症候群の日本人に適した診断基準と治療指針の作成	平田恭信	循環器内科	1,300万円	(補) 厚生労働省 委
超拡大内視鏡を用いた内視鏡的組織診断法の確立と自動診断への応用	藤城 光弘	消化器内科	100万円	(補) 文部科学省 委
胃粘膜に蓄積したエピジェネティック異常の定量による多発胃癌発生予測に関する前向き研究	藤城 光弘	消化器内科	300万円	(補) 厚生労働省 委
自己免疫性腎炎・血管炎の新しい治療法の開発	平橋淳一	腎臓・内分泌内科	200万円	(補) 武田科学振興財団 委
アディポネクチンシグナルネットワークの新たな展開と可能性	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	1,001万円	(補) 文部科学省 委
メタボリックシンドローム・糖尿病の鍵分子アディポネクチン受容体 AdipoR/ AMPK/ ACCタンパク群の構造解析とそれに基づく機能解明及び治療法開発	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	3,881.2万円	補 文部科学省 (委)
アディポネクチンを標的とした生活習慣病の機能性(予防/改善)食品の開発	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	2,499.9万円	補 科学技術振興機構 (委)
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	300万円	補 文部科学省 (委)
性差からみた新たな老年医学体系の構築-健康寿命の延長をめざして-	大内尉義	老年病科	1,500万円	(補) 文部科学省 委
男性ホルモンの低下が虚弱高齢者の生命および機能予後に与える縦断臨床研究	秋下雅弘	老年病科	160万円	(補) 三井住友海上 委 福祉財団
心血管石灰化の病態解明と治療への応用 -Gas6/Axl を介したアポトーシスの関与-	飯島勝矢	老年病科	220万円	(補) 文部科学省 委
加齢変化に伴う炎症反応に対する核内受容体の抑制的作用メカニズムの解明	小川純人	老年病科	150万円	(補) 文部科学省 委
高齢者における転倒機序の解明とその防止に向けた新規治療法の開発	小川純人	老年病科	100万円	(補) かなえ医薬 委 振興財団
肺線維症、肺気腫の発症・進展機序におけるアドレノメデュリンの役割	山本寛	老年病科	208万円	(補) 文部科学省 委
炎症性肺疾患における抗菌ペプチドの病態生理学的意義に関する細胞および個体での検討	山口泰弘	老年病科	90万円	(補) 文部科学省 委

胃癌腹膜播種に対する腹腔内・全身併用化学療法	名川弘一	大腸肛門外科	350万円	補委	厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	國土典宏	肝胆膵外科	2,210万円	補委	厚生労働省
大腸癌肝転移関連分子の究明と関連分子を標的とした新たな治療開発	國土典宏	肝胆膵外科	120万円	補委	厚生労働省
消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為比較試験	國土典宏	肝胆膵外科	30万円	補委	厚生労働省
医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立にする研究	國土典宏	肝胆膵外科	50万円	補委	厚生労働省
診療ガイドラインの新たな可能性と課題:患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習	國土典宏	肝胆膵外科	20万円	補委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	國土典宏	肝胆膵外科	200万円	補委	厚生労働省
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	國土典宏	肝胆膵外科	280万円	補委	厚生労働省
脳虚血後の神経再生・炎症・遺伝子治療に関わる総合的研究	斉藤延人	脳神経外科	1,508万円	補委	日本学術振興会
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	川合謙介	脳神経外科	70万円	補委	国立精神・神経センター
言語・記憶機能画像と脳電気刺激・皮膚電位活動解析による脳内ネットワークの画像化	鎌田恭輔	脳神経外科	130万円	補委	日本学術振興会
脳機能画像と皮質電位時間一周波数解析による言語・記憶機能検出と空間-時間変動分析	鎌田恭輔	脳神経外科	260万円	補委	文部科学省
悪性神経膠腫の分子標的治療に対する耐性獲得メカニズムの解明と新たな治療戦略の構築	武笠晃丈	脳神経外科	156万円	補委	日本学術振興会
皮膚由来の多機能性幹細胞の分化誘導実験及び損傷脳・末梢神経への移植実験	高井敬介	脳神経外科	169万円	補委	日本学術振興会
脳外科手術前における言語・運動機能マッピング、局在の決定および電気生理学的検証	太田貴裕	脳神経外科	160万円	補委	てんかん治療研究財団
機能付加型の癌特異的複製型ヘルペスウイルスベクターの基礎開発	藤堂具紀	脳神経外科	550万円	補委	文部科学省
増殖型遺伝子組み換えヘルペスウイルスを用いた新規脳腫瘍治療法の開発研究	藤堂具紀	脳神経外科	897万円	補委	日本学術振興会
神経障害後の運動麻痺・感覚麻痺に対するリハビリテーションロボットスーツとナレッジデータベースシステムに基づいた在宅リハビリテーション支援システムの開発	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	1,378万円	補委	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

人とかかわる共生型ロボットのためのロボットの適応的要素行動	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	130万円	補委	文部科学省
がん性疼痛患者のQOL向上のための橋渡し研究連携拠点の構築	山田芳嗣 住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	5,200万円	補委	厚生労働省
ウロプラキンIII-delta4を分子マーカーとした間質性膀胱炎の新規診断法の開発	本間之夫	泌尿器科・男性科	30万円	補	文部科学省
皮下脂肪細胞由来幹細胞を用いた勃起不全治療法の開発	西松寛明	泌尿器科・男性科	200万円	補	文部科学省
結石を対象とする非侵襲超音波診断・治療統合システムの開発	杉原亨	泌尿器科・男性科	130万円	補	文部科学省
癌特異的プロモータを利用した抗癌ウイルス療法の構築 ～腎癌、前立腺癌において	福原浩	泌尿器科・男性科	110万円	補	文部科学省
皮膚で生産されるTARCの皮膚炎における役割の解析	常深 祐一郎	皮膚・皮膚光線レーザー科	208万円	補委	文部科学省
悪性黒色腫の進展、転移のメカニズム-ケモカイン受容体の制御因子に関する研究	柿沼 誉	皮膚・皮膚光線レーザー科	169万円	補委	文部科学省
皮膚免疫におけるリンパ管の役割	菅谷 誠	皮膚・皮膚光線レーザー科	208万円	補委	文部科学省
皮膚ランゲルハンス細胞活性化分子の機能解析とその治療への応用	玉置 邦彦	皮膚・皮膚光線レーザー科	767万円	補委	日本学術振興会
皮膚線維芽細胞によるランゲルハンス細胞の機能調節	多田 弥生	皮膚・皮膚光線レーザー科	195万円	補委	日本学術振興会
咽喉頭がんのリンパ節転移に対する標準的手術法の確立に関する研究	朝蔭 孝宏	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	200万円	補委	厚生労働省
老人性難聴の発症機序の解明および予防法の開発に関する研究	山嵜 達也	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	880万円	補委	文部科学省
人工内耳を装用した先天性高度感音難聴小児例の聴覚・言語能力の発達に関するエビデンスの確立	山嵜 達也	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	1,100万円	補委	厚生労働省
哺乳類末梢前庭システム(感覚受容器・前庭神経節)の生理・薬理学的解析	伊藤 健	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	150万円	補委	文部科学省
アミノ配糖体抗菌薬等による内耳障害に対する蛋白治療～臨床応用への基礎的研究～	檜尾 明憲	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	135万円	補委	文部科学省
加齢変化が嗅上皮の構造、細胞動態及び傷害後の再生能に及ぼす影響の分子生物学的解析	近藤 健二	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	100万円	補委	文部科学省
嗅覚障害をもたらす嗅粘膜上皮のアポトーシスの誘導経路とその抑制に関する解析	坂本 幸士	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	50万円	補委	文部科学省
MEGを用いた人聴皮質における音色認知過程の神経メカニズムの研究	水落 智美	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	90万円	補委	文部科学省
哺乳類前庭有毛細胞の再生様式に関する研究	鈴川 佳吾	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	135万円	補委	文部科学省

蝸牛有毛細胞の再生に関わる支持細胞の分裂・増殖・分化とアポトーシスの機構の解明	鈴木 光也	耳鼻咽喉科・ 聴覚音声外科	250万円	補 委	文部科学省
口腔外科領域における手術用ロボティクスシステムの基盤技術の開発	高戸 毅	顎口腔外科・ 歯科矯正歯科	300万円	補 委	文部科学省
顎顔面領域軟骨欠損部に対する新たな軟骨再生法の確立	矢野文子	顎口腔外科・ 歯科矯正歯科	150万円	補 委	文部科学省
牽引側の骨形成・石灰化過程におけるマトリックスベジクルの役割	大久保 和美	顎口腔外科・ 歯科矯正歯科	182万円	補 委	文部科学省
歯槽骨延長術における口蓋癒痕および周囲軟部組織変化に関する実験的研究	杉山 円	矯正・小児系歯学	169万円	補 委	日本学術振興会
発達期脳障害の機序と可塑性に関する研究	岡明	小児科	150万	補 委	日本学術振興会
ネブローゼ・腎炎発症における糸球体上皮細胞発現分子リン酸化カスケードの解析	関根孝司	小児科	150万	補 委	日本学術振興会
小児横紋筋肉腫における予後因子の同定を目的としたゲノム解析	井田孔明	小児科	130万	補 委	日本学術振興会
先天性心疾患の術後管理における心拍変動スペクトル解析の有用性	香取竜生	小児科	50万	補 委	日本学術振興会
全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基盤策定	岡明	小児科	150万	補 委	厚生労働省
発達期に発生する外因性脳障害の診断・治療予防のための実証的研究とガイドライン作成	岡明	小児科	100万	補 委	厚生労働省
母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	岡明	小児科	75万	補 委	厚生労働省
治験の実施に関する研究[IDEC-C2B8]	三浦健一郎	小児科	100万	補 委	厚生労働省
周産期白質傷害における微小環境と神経再生に関する研究	上妻志郎	女性診療科・産科	156万円	補 委	日本学術振興会
新規GHRHアンタゴニストの婦人科腫瘍及び卵巣機能に対する効果と作用機序の解明	矢野哲	女性外科	169万円	補 委	日本学術振興会
妊娠の成立と維持における胎盤炎症反応系の生理的・病的役割に関する研究	藤井知行	女性診療科・産科	195万円	補 委	日本学術振興会
コレステロール硫酸による着床期子宮内膜の遺伝子発現調節機構	百枝幹雄	女性外科	169万円	補 委	日本学術振興会
子宮内膜症の病因、病態における各種免疫担当細胞の役割の解明	大須賀穰	女性診療科・産科	247万円	補 委	日本学術振興会

粘膜免疫活性化による子宮頸癌前癌病変の新規治療戦略に関する研究	川名敬	女性診療科・産科	143万円	補委	日本学術振興会
婦人科腫瘍の悪性転化におけるRasシグナル経路活性化の意義の解明	織田克利	女性外科	208万円	補委	日本学術振興会
遺伝子・生化学マーカー・神経画像解析を組み合わせた統合失調症の進行性脳病態の解明	笠井清登	精神神経科	360万円	補委	文部科学省
脳画像にもとづく精神疾患の臨床病期概念の確立と適切な治療・予防法の選択への応用についての研究	笠井清登	精神神経科	225万円	補委	厚生労働省
統合失調症患者の気質・性格と認知機能・社会機能の関連について	山崎修道	精神神経科	130万円	補委	文部科学省
オキシトシンによる社会性障害の改善の脳基盤解明と、脳画像指標による改善効果の予測	山末英典	精神神経科	273万円	補委	文部科学省
統合失調症前駆期における事象関連電位研究	荒木 剛	精神神経科	80万円	補委	統合失調症研究会
統合失調症の診断・治療に資する神経画像検査法の開発	笠井清登	精神神経科	43万円	補委	国立精神・神経センター
神経画像を用いた統合失調症・発達障害の客観的補助診断法の標準化と治療反応性の判定法の確立	笠井清登	精神神経科	140万円	補委	国立精神・神経センター
統合失調症におけるグルタミン酸神経伝達異常に対する統合的アプローチ	笠井清登	精神神経科	180万円	補委	文部科学省
脳機能計測を用いた自閉症スペクトラム障害の異種性の検討-経年変化による検討-	川久保 友紀	精神神経科	120万円	補委	文部科学省
事象関連電位(ガンマ帯域解析)による統合失調症のセルフモニタリング異常の検討	荒木 剛	精神神経科	180万円	補委	文部科学省
トゥレット症候群の治療や支援の実態の把握と普及啓発に関する研究	金生由紀子	こころの発達診療部	380万円	補委	厚生労働省
児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充に関する研究	金生由紀子	こころの発達診療部	1,400万円	補委	厚生労働省
定量的指標を用いた脳形態および脳機能の統合的解析	阿部 修	放射線科	90万円	補委	文部科学省
末梢神経領域における拡散テンソルMRIおよびトラクトグラフィーの基礎的検討	國松 聡	放射線科	50万円	補委	文部科学省
生体の腫瘍免疫応答を利用した新たな放射線治療法の開発	白石 憲史郎	放射線科	90万円	補委	文部科学省
強度変調原体照射法と治療中の同時CT撮影による高精度放射線治療法の開発	中川 恵一	放射線科	845万円	補委	文部科学省
血小板由来生理活性物質の解析:血小板生物学の構築とその測定の臨床検査医学的応用	矢富 裕	検査部	754万円	補委	日本学術振興会

スフィンゴシン1リン酸の肝障害における意義の解明	池田 均	検査部	360万円	補委	日本学術振興会
メタボリックシンドロームにおける多臓器障害発症メカニズムと治療法の研究	下澤 達雄	検査部	247万円	補委	日本学術振興会
肝硬度測定法を用いた慢性肝疾患患者における血小板減少機序の解明	杉岡 陽介	検査部	57万円	補委	日本学術振興会
前立腺体積簡易計測インデックスの考案	後藤 寛昭	検査部	33万円	補委	日本学術振興会
EBウイルス関連胃癌. DNAメチル化亢進の分子機序解明と胃癌治療への展開	深山正久	病理部	1,807万円	補委	日本学術振興会
SV40. 日本, アジアにおける分子疫学	深山正久	病理部	312万円	補委	日本学術振興会
「診療行為に関連した死亡の調査分析」における解剖を補助する死因究明手法(死後画像)の検証に関する研究	深山正久	病理部	1,200万円	補委	厚生労働省
残胃癌・胃上部癌の発癌に関連する形質の特徴抽出と背景粘膜の特徴の解明	宇於崎宏	病理部	169万	補委	日本学術振興会
早期胃癌に対する内視鏡治療の組織学的適応基準の最適化を目指した病理組織学的解析	牛久哲男	病理部	124万円	補委	文部科学省
組織マイクロアレイを用いた肝細胞癌の免疫組織学的検討—有意な腫瘍群の抽出の試み	柴原純二	病理部	160万円	補委	文部科学省
角膜内皮および実質における再生医療実現のための基盤技術の確立	天野史郎	角膜移植部	845万円	補委	文部科学省
内臓型リーシュマニア症感染制御のための研究	野入英世	血液浄化療法部	2000万円	補委	総合科学会議 JST
放射線治療と免疫細胞治療の併用による革新的ながんの集学的治療の開発	垣見和宏	免疫細胞治療学(メ ディネット)講座	510万円	補委	文部科学省

小計 13
合計103

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Digestive and Liver Disease	Endoscopic submucosal dissection as a staging measure may not lead to worse prognosis in early gastric cancer patients with additional gastrectomy.	Goto O, Fujishiro M	消化器内科
Digestive and Liver Disease	Feasibility of electrocautery snaring as the final step of endoscopic submucosal dissection for stomach epithelial neoplasms.	Goto O, Fujishiro M	消化器内科
Gut and Liver	Submucosal injection of normal saline may prevent unexpected deep thermal injury of argon plasma coagulation in an in vivo porcine stomach.	Fujishiro M	消化器内科

小計 3

Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques	Technical feasibility of endoscopic submucosal dissection for the gastrointestinal epithelial neoplasms with a splash-needle.	Fujishiro M	消化器内科
J Biol Chem	Rimonabant ameliorates insulin resistance via both adiponectin-dependent and adiponectin-independent pathways	Watanabe T, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
Biochem Biophys Res Commun	Adiponectin suppresses hepatic SREBP1c expression in an AdipoR1/LKB1/AMPK dependent pathway	Awazawa M, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
FEBS Lett	5-Hydroxytryptamine 2A receptor signaling cascade modulates adiponectin and plasminogen activator inhibitor 1 expression in adipose tissue	Uchida-Kitajima S, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
Exp Anim	An Efficient reproductive method for Irs2-/- mice with C57BL/6JJcl genetic background	Hashimoto H, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
Gut	Adiponectin suppresses colorectal carcinogenesis under the high-fat diet condition	Fujisawa T, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
Clin Exp Med	Fulminant type 1 diabetes mellitus observed in insulin receptor substrate 2 deficient mice	Arai T, Yamauchi T, Kadowaki T	糖尿病・代謝内科
Hypertens Res	Association of plasma dehydroepiandrosterone-sulfate levels with endothelial function in postmenopausal women with coronary risk factors	Akishita M	老年病科
J Gerontol A Biol Sci Med Sci	Airspace enlargement with airway cell apoptosis in klotho mice: a model of aging lung	Ishii M	老年病科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Cilostazol inhibits oxidative stress-induced premature senescence via upregulation of Sirt1 in human endothelial cells	Ota H	老年病科
Endocrinology	Adiponectin antagonizes stimulatory effect of tumor necrosis factor- α on vascular smooth muscle cell calcification: regulation of growth arrest-specific gene 6-mediated survival pathway by adenosine 5'-monophosphate-activated protein kinase	Son BK	老年病科
Biochem Biophys Res Commun	FOXP1 is an androgen-responsive transcription factor that negatively regulates androgen receptor signaling in prostate cancer cells	Takayama K	老年病科
Cancer Res	Amyloid precursor protein is a primary androgen target gene that promotes prostate cancer growth	Takayama K	老年病科
Osteoporosis Japan	骨粗鬆症予防に対する地域在住高齢者を対象とした転倒予防運動教室の効果に関する研究	小川純人	老年病科
Gastroenterology	A molecular signature of gastric metaplasia arising in response to acute parietal cell loss	Nozaki K	胃・食道外科
Dis Esophagus	Celiac lymph nodes:distant or regional for thoracic esophageal carcinoma?	Seto Y	胃・食道外科
World Surg	Previous laparotomy is not a contraindication to laparoscopy-assited gastrectomy for early gastric cancer	Nunobe S	胃・食道外科
J Surg Oncol	Benefit of mediastinal and para-aortic lymph-node dissection for advanced gastric cancer with esophageal invasion	Nunobe S	胃・食道外科
Hepatogastroenterology	ncidence of gastric cancer in the remnant stomach after proximal gastrectomy	Nunobe S	胃・食道外科
Langenbecks Arch Surg	Survival benefits of pancreatoduodenectomy for gastric cancer:relationship to the number of lymph node metastasus	Nunobe S	胃・食道外科
Immunol Med Micro biol	MyD188-induced downregulation of IRAK-4 and its structural requirements	Hatao F	胃・食道外科

Dis Esophagus	Can immune-enhancing nutrients reduce postoperative complication in patients undergoing esophageal surgery?	Fukuda T	胃・食道外科
消化器内科	噴門側胃切除	清水 伸幸	胃・食道外科
消化器外科学会雑誌	粘液細胞化生(SPEM)と胃癌発生	野村 幸世	胃・食道外科
手術	食道胃領域の手術	瀬戸 泰之	胃・食道外科
手術	上部胃癌に対する術式	清水 伸幸	胃・食道外科
日本外科学会雑誌	消化器神経内分泌腫瘍	清水 伸幸	胃・食道外科
消化器外科	実験胃癌モデルに対するHelicobacter pylori除菌の効果	清水 伸幸	胃・食道外科
日本臨床	がんに対する細胞療法 変遷と今後の展開～ Present status and Future Prospect of	分田 貴子	胃・食道外科
日本消化器外科学会雑誌	根治的放射線化学療法、内視鏡的粘膜下層剥離術後に胃噴門部に粘膜下腫瘍様血行性転移が疑われた食道癌の1例	丹羽 隆善	胃・食道外科
癌の臨床	洗浄細胞診陽性胃癌に対する治療戦略 -腹腔内反復化学療法の有用性-	布部 創也	胃・食道外科
日本臨床	胃癌 -基礎臨床研究のアップデート- 胃癌外科的手術療法の現況と今後の展望	上西 紀夫	胃・食道外科
消化器外科	残胃の癌 噴門側胃切除後	上西 紀夫	胃・食道外科
消化器医学	Helicobacter pylori 感染スナネズミにおけるSPEMの出現について	吉澤 奈央	胃・食道外科
Prog Dig Endosc	低肺機能筋萎縮性側索硬化症患者に胃瘦造成を施行した1例	吉澤 奈央	胃・食道外科
日本消化器外科学会雑誌	薬剤溶出性冠動脈ステント留置後に発見された胃癌症例の臨床試験	畑尾 忠彦	胃・食道外科
消化器科	高度肥満症に対する内視鏡下胃内バルーン留置の臨床試験	畑尾 忠彦	胃・食道外科
内分泌・糖尿病科	肥満症の外科的治療法 2)消化管切除・吻合を伴う手術	畑尾 忠彦	胃・食道外科
臨床消化器内科	胃癌化学呼ぼう (1)Helicobacter pylori感染スナネズミ実験モデル	野崎 浩二	胃・食道外科
手術	腹部食道・横隔膜	瀬戸 泰之	胃・食道外科
Gastroenterological Endoscopy	胃癌内視鏡診断の進歩	上西 紀夫	胃・食道外科
DS NOW	胃切除後の胃・十二指腸、胃・空腸吻合術	上西 紀夫	胃・食道外科
Surgery Frontier	どこまで切除するか-良・悪性境界型腫瘍性病変- 2.胃潰瘍	上西 紀夫	胃・食道外科
Hum Pathol	Luminal and cancer cells in the breast show more rapid telomere shortening than myoepithelial cells and fibroblasts	Kurabayashi R	乳腺・内分泌外科
がん治療最前線	分子標的治療薬 トラスツズマブ	金内 一	乳腺・内分泌外科
癌の基礎から臨床へ	Trastuzumab およびlapatinibの分子作用機構と乳癌治療	金内 一	乳腺・内分泌外科
Hepatogastroenterology	Viable liver parenchyma in a living donor liver graft: an "egg of Columbus" or a challenge to an axiom of liver surgery?	Kishi Y	人工臓器移植外科
Oncology	Phase I pharmacokinetic study of weekly intravenous and intraperitoneal paclitaxel combined with S-1 for advanced gastric cancer.	Ishigami H	大腸肛門外科

Annals of Oncology	Phase II study of weekly intravenous and intraperitoneal paclitaxel combined with S-1 for advanced gastric cancer with peritoneal metastasis.	Ishigami H	大腸肛門外科
Hepatogastroenterology	Clamp-crushing pancreas transection in pancreaticoduodenectomy.	Koga R	肝胆膵外科
Clin Exp Metastasis	Des-gamma-carboxy prothrombin stimulates human vascular endothelial cell growth and migration	Wang SB	肝胆膵外科
Hepatogastroenterology	Elevation of serum KL-6 mucin levels in patients with cholangiocarcinoma.	Xu H	肝胆膵外科
Hepatogastroenterology	Eleven-year survivor of unresectable intrahepatic cholangiocarcinoma treated using long-term UFT therapy.	Takemura N	肝胆膵外科
J Am Coll Surg	Intraoperative fluorescent cholangiography using indocyanine green: a biliary road map for safe surgery.	Ishizawa T	肝胆膵外科
J Gastroenterol	Evidence-based clinical practice guidelines for hepatocellular carcinoma in Japan: the J-HCC guidelines.	Kokudo N	肝胆膵外科
Oncology	Surgical treatment of hepatocellular carcinoma: comparison of resection and transplantation.	Sugawara Y	人工臓器移植外科
Hepatol Res	Assessment of liver function for safe hepatic resection.	Seyama Y	肝胆膵外科
Biol Blood Marrow Transplant	Successful hematopoietic stem cell transplantation from an HLA-identical sibling in a patient with aplastic anemia after HLA-haploidentical living-related liver transplantation for fulminant hepatitis.	Yoshimi A	人工臓器移植外科
Arch Surg	Risk factors and management of ascites after liver resection to treat hepatocellular carcinoma.	Ishizawa T	肝胆膵外科
Hepatology	Allelic imbalances and homozygous deletion on 8p23.2 for stepwise progression of hepatocarcinogenesis.	Midorikawa Y	肝胆膵外科
Surgery	Is there any difference in survival according to the portal tumor thrombectomy method in patients with hepatocellular carcinoma?	Inoue Y	肝胆膵外科
Life Sci	Des-gamma-carboxy prothrombin increases the expression of angiogenic factors in human hepatocellular carcinoma cells.	Gao FJ	肝胆膵外科
Chemotherapy	Vitamin K2 inhibits the growth of hepatocellular carcinoma via decrease of des-gamma-carboxy prothrombin.	Ma M	肝胆膵外科
Oncol Rep	Positive KL-6 mucin expression combined with decreased membranous beta-catenin expression indicates worse prognosis in colorectal carcinoma.	Zhang W	肝胆膵外科
Transpl Infect Dis	Pseudomonas aeruginosa infection after living-donor liver transplantation in adults.	Hashimoto M	人工臓器移植外科
World J Gastroenterol	Recurrence of cholestatic liver disease after living donor liver transplantation.	Tamura S	人工臓器移植外科
Transpl Int	Portal vein complications after adult-to-adult living donor liver transplantation.	Kyoden Y	人工臓器移植外科
Hepatol Res	Double-dose double-phase use of second generation hepatitis B virus vaccine in patients after living donor liver transplantation: Not an effective measure in transplant recipients.	Yamashiki N	臓器移植医療部